令和５年度広島県春期帆走指示書

R5.5.19

1　規則

本レースは、2021～2024国際セーリング競技規則（以下ＲＲＳという）に定義された「規則」を適用する。

2　帆走指示書の変更

1)　帆走指示書の変更については、当該クラスの予告信号の６０分前までにLINE及び公式掲示する。

2)　また、海上において帆走指示書の変更通告は、レースコミッティーボートにＬ旗を掲揚し口頭にて全選手に通告する。内容を確認した艇は手を振ってこれに応じること。

3　選手とのコミュニケーション

1)　参加者への通告は、LINE及び観音マリーナに設置された公式掲示板に掲示される。

2)　緊急の場合を除き、レース中の艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータを受信してはならない。

4　行動規範

競技者及び支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5　陸上で掲げる信号

1)　観音マリーナをホームポートとするレース艇は、Ｄ旗が掲揚されるまで出艇してはならない。

2)　予告信号は、Ｄ旗降下後３０分以降に発せられる。

3)　レース日程に示された個別のレースに対して、ＡＰ旗は掲揚しない。予告信号予定時刻の３０分前までにＤ旗が掲揚されない場合、そのレースの予告信号は時間の定めなく延期されている。

4)　Ｙ旗が掲揚された場合、ＲＲＳ４０．１の規定に従うこと。

6　レースの日程及びクラス旗

1)　最初のレース予告信号の予定時刻、コース及びクラス旗は、次のとおりとする。

ク　ラ　ス	６月４日	コース	クラス旗
４７０級	１０：３０	**ＬＲ２**	４７０旗
スナイプ級	１０：３５	**ＬＲ２**	Ｆ旗
ＩＬＣＡ６級	１０：４０	**ＬＲ２**	ＩＬＣＡ６旗

2)　最初のレースに引き続き次のレースを実施する。また、第２レース以降は任意の順とすることができる。

3)　競技者に昼食の時間を設けるため、ＡＰの下にナイフとフォークのロゴマークが掲げられた場合、少なくとも１５分間は予告信号が掲揚されることはない。

4)　１６時０１分以降の予告信号は発しない。

7　レースエリア及びコース

1) レースエリアは井口沖とし、コースはソーセージコースとする。（コース図参照）
2) コースについては、別図に示すとおりであるが、コース図は概略を表したものであり、海面の状況により一致しない場合、救済の対象とはならない。
3) ゲートマークを除き各回航マークは、左側に見て回航すること。

８　マーク

1) スタートマークは、オレンジ旗を掲げた運営船及び黄色旗ブイとする。
2) スナイプ級及び４７０級の１Ｍはピンク色の円柱形ブイとする。
3) ＩＬＣＡ６級の１Ｍは、緑色の円柱形ブイとする。
4) １Ｍのオフセットマークはオレンジ色の球形ブイとする。
5) ２Ｍはゲートマークとし、白色の球形ブイとする。
6) フィニッシュマークは、ブルー旗を掲げた運営船と黄緑色のシリンダーブイとする。
7) コースの次のレグを変更した場合のマークは指示11による。

９　スタート

1) 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号の５分以前に音響1声と共にオレンジ色旗を本部船に掲揚する。
2) レースは、ＲＲＳ２６の方式１によるが、ゼネラルリコールとなったクラスに続いてスタートするクラスがある場合、ゼネラルリコールとなったクラスの再スタートは、未だ準備信号が発せられていない最後のクラスの５分後に再スタートするものとし、第１代表旗は４分間掲揚される。これは、ＲＲＳ２６とＲＲＳ２９．２を変更している。
3) 準備信号が発せられていない艇は、レース中の艇を避けなければならない。
4) ＲＲＳ３０．４が適用され、その後再スタート、再レース又は予定変更となった場合、レース委員会はＲＲＳ３０．４を変更し、その艇のセール番号をレースコミッティーボートに掲示する。

10　スタートライン

1) スタートラインは、スターボードエンド及びポートエンドに位置したレースコミティーボートのオレンジ旗を掲揚したポール若しくはマストの間とする。
2) スタートラインは、当該クラスのスタート４分後に消滅し、４分以内にスタートしなかった艇はＤＮＳと記録され得点計算される。これは、付則Ａ５．１及び５．２を変更している。

11　コースの次のレグの変更

1) ＲＲＳ３３に基づきコースの次のレグを変更する場合、新たなレグの距離の変更については視認できる距離であるため、ＲＲＳ３３を変更し「＋」若しくは「－」信号は表示されないことがある。
2) ＲＲＳ３３に基づき次のコースのレグを変更する場合には、スナイプ級及び４７０級の１Ｍは、黄色三角錐ブイを使用する。ＩＬＣＡ６級及び４２０級の１Ｍは、白色の球形ブイを使用する。

12　フィニッシュライン

1) フィニッシュラインは、ブルー旗を掲げたレースコミッティーボートのポール若しくはマストと、その直近に設置されている黄緑色のシリンダーブイの間とする。

13　ペナルティー方式

1)　付則Ｐを適用する。

2)　出走申告及び帰着申告手続き違反に対しては、審問なしに申告違反に時間的に近い１レースにつき、得点に１点を加算しＳＴＰと記載する。 ただしＤＮＦの得点を超えることはない。これは、ＲＲＳ６３．１及び付則Ａ５．１及び５．２を変更している。

14　フィニッシュウインド

1)　最初の艇が、コースを帆走してフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間は１０分とする。

2)　フィニッシュウインドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティーを課されず、または救済を与えられなかった艇は、審問なしにタイムリミット超過（得点略語「ＴＬＥ」）と記録され、ＤＮＦ相当の順位得点が与えられる。これは、ＲＲＳ３５、Ａ５．１及びＡ５．２を変更している。

15　審問要求

1)　抗議書の提出締切時刻はＲＲＳ６１．３を変更し、その日実施された最後のクラスのレース終了時刻後４０分以内、または「その日はレースを実施しない旨」の通告後４０分以内とし、マリーナにおいて受け付ける。ただし、海面状況如何では、プロテスト委員会の判断により締め切り時間が延長されることがある。

2)　抗議の通告は、審問の場所及び時刻、抗議の当事者等を選手に知らせるため、抗議締切時刻後１５分以内にＬＩＮＥ又は公式掲示される。

16　得点

1)　付則Ａ２を変更し４レース未満の場合には、全てのレースの合計得点をその艇の得点とする。

2)　最大５レースを予定するが、何れも１レースをもって成立する。

17　艇及びセール

1)　県連計測の有無に係わらず、レース終了後にレース委員会によりインスペクション（検査）を行うことがあり、クラス規則に抵触した場合、レース委員会はその艇に抗議することがある。

2)　事前にレース委員会へ届け出ることなく参加申込みと異なるセール及び乗艇者により競技した場合、そのレースについてはＤＮＣとして扱われる。これは、付則Ａ５．1及び５．２を変更している。

18　安全（出走申告、帰着申告等）

1)　その日の最初のレース予定予告信号の３０分前までに観音マリーナで艇長が出走申告（サイン方式）を行うこと。

3)　その日の最終レースの終了後４０以内に、艇長が帰着申告（サイン方式）を行うこと。ただし、レース委員会の判断により締め切り時間が延長されることがある。

4)　レース公示(安全項目)に従い、艇は曳航のために有効なバウラインを搭載すること。

19　リスク・ステートメント

RRS 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、

セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。**セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。**

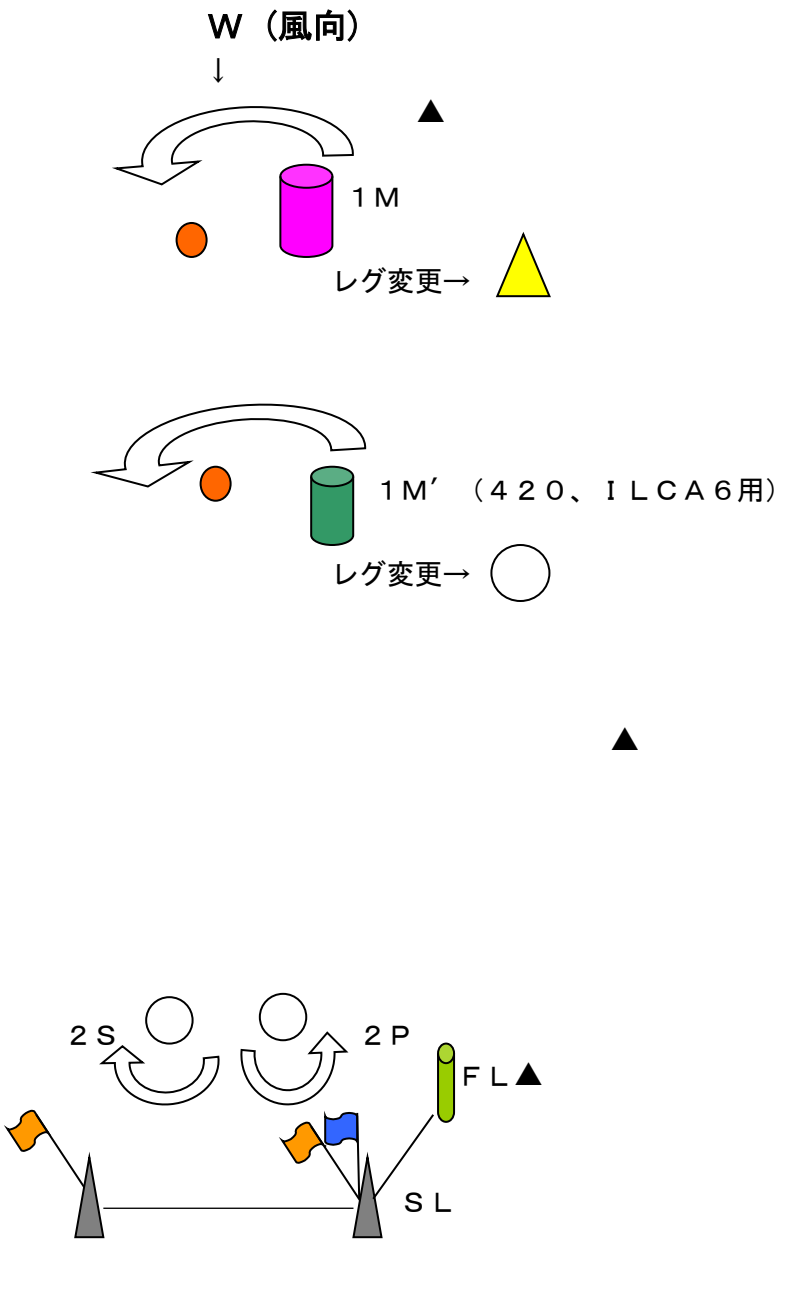
20　その他

1)　運営艇の識別旗として「ピンクフラッグ」を使用する。

2)　プロテストボートの識別旗として緑旗を掲揚する。

3)　レース信号を追加変更し、昼食に必要な時間を設ける場合には、本部船にＡＰ旗とともにランチフラッグ（ナイフとフォークのイラスト）を掲揚する。

コース図　（ソーセージコース）



▲印は監視船（警戒船）

回航マーク順

Ｗ１：スタート→１Ｍ→オフセット→２Ｇ→１Ｍ→２Ｐ→フィニッシュ

Ｗ２：スタート→１Ｍ′→オフセット→２Ｇ→１Ｍ′→２Ｐ→フィニッシュ

注）フィニッシュラインは、最終マークからのコースに対して直角が原則